

解体進む旧本庁舎

古川工業高 建築科2年生 現場実習で作業見学

旧大崎市役所本庁舎の解体工事が進んでいる。12日は古川工業高建築科の2年生3人が現場実習で訪れ、事業を請け負う千川土地（早坂章太社長）の担当者から工事の概要を聞き、大型重機が建物を取り壊す作業を見学した。

古工建友会が受け入れ

旧本庁舎の解体は7月10日に着手。内部の工事を進めた後、9月19日に建物の取り壊し作業が始まった。地上3階、地下1階の鉄筋コンクリート造で、並んで建てられた旧西庁舎は同じく鉄筋コンクリート造の地上4階建て、地下1階。このほ

現場実習は、同科卒業生でつくる古工建友会（会長・早坂社長）が協力し、生徒を受け入れている。この日訪れたのは、山田心愛さん（17）、渡邊心花さん（17）、及川紗矢さん（17）。3人は現場事務所

概要やスケジュール、安全対策や解体の進め方などについて説明を受けた。
この後、工事現場に移動し、重機がコンクリートの建物を取り壊す様子や従業員の職務などを記した安全管理の掲示板、騒音計などを見て回った。
3人は「現場を見る機会はなく、アスベスト対策などが勉強になった」（山田さん）、「ビ

解体した地下には雨水貯水槽と防火水槽、地上には120台分の駐車場がそれぞれ整備され、来年7月、供用開始される予定。



解体作業について説明を受ける生徒たち



解体が進む旧市役所西庁舎

ルはたくさんの方が組むのが分かった」（渡邊さん）、「周囲に気を